

結果と反省点

●第9回へたくそソフトボール大会(HST)結果

2011年11月13日

・第1試合A(10:01~10:33)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
54ニョッキーズ	0	1	0	0				1
四十路	0	11	0	×				11

審・記: KB

・第1試合B(10:02~10:32)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
Triam Pat	0	1						1
ラビッツ	1	10						11

審・記: KB

・第2試合A(10:45~11:16)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
54ニョッキーズ	2	0	2	0				4
KB	2	2	0	1				5

審・記: 四十路

・第3試合A(11:30~12:06)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
KB	0	0	0	0				0
ラビッツ	3	1	2	×				6

審・記: 54ニョッキーズ

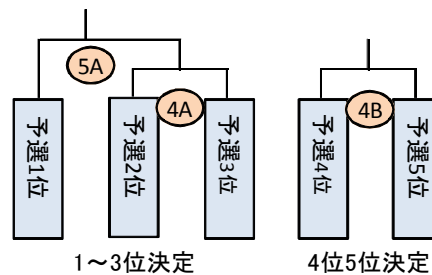
・第3試合B(11:31~12:19)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
四十路	2	1	5					8
Triam Pat	1	0	8					9

審・記: 54ニョッキーズ

●予選リーグ結果	勝点	得失	チーム
第1位	6	+16	ラビッツ
第2位	3	+9	四十路
第3位	3	-5	KB
第4位	3	-9	Triam Pat
第5位	0	-11	54ニョッキーズ

決勝トーナメント



・第4試合A(第3位決定戦)(13:01~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
四十路	2	0	0	2	0			4
KB	0	3	0	2	×			5

審・記: ラビッツ

・第4試合B(第4位決定戦)(13:05~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
54ニョッキーズ	0	0	0	0	0	0		0
Triam Pat	3	0	0	0	0	0		3

審・記: ラビッツ

・第5試合A(決勝戦)(13:23~14:04)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
KB	0	0	2	0	2			4
ラビッツ	0	0	0	2	0			2

審・記: Triam Pat

結果と反省点

【優勝チーム】 KB

【チーム順位・団体賞】 準優勝: ラビッツ
第3位: 四十路
(ブービー賞) 第4位: Triam Pat
第5位: 54ニョッキーズ

【個人賞】
・MVP 村上(KB)

●大会を終えて

タイの洪水がバンコク中心部に迫る中、主要な工業団地が被災するなどして開催が危ぶまれましたが、なんとか予定通り行うことができました。ただ予定していた9チームではなく、5チームに縮小しての大会となりました。また、いつものアーミーグラウンドは周辺の道路が冠水しているために使えず、急遽、ラビッツさんのホームグラウンドを丸1日借りての大会となりました。様々な事情で参加できなかった方がおられたことを思うと複雑な気持ちになりますが、大会を行うことによって元気づけられた人もいたと思います。いろいろと障害がありながらも無事に大会を終えられて、良かったと思います。

●反省点

・記録に関する問題

・慣れてきたことや参加チームが少ないこともあり、大きな問題はありませんでした。

・ルールに関する問題

・フェアの打球がベンチなどの障害物入った時のルールを誤って解釈した例があった。テイク2ベースとして1塁に留まっていた打者走者を2塁に進ませた。正確なルールは、守備がボールを追うのが危険と判断されたならボールデッドとしてテイク2ベース。そうでなければ、走者が3進以上しそうな場合は、ボールデッドとして2進まで認める。このケースではベンチに飛び込んだボールがすぐに飛び出したので、3進以上しそうでなければボールデッドとはしない。

・運営に関する問題

・慣れてきたことや、今回は時間に余裕があったこともあり、設営も後片付けも、手際よくやってもらえた。
・ラッキードロウを理解していないチームがあり、ラッキードロウ用の投票が閉会式直前になったところもあった。
・試合中にファールボールが駐車中の車に直撃し、フロントガラスが破損するという事故がありました。幸い大会関係者の車だったため、大きなトラブルにはなりませんでしたが。修理費1万Bのうちの7割を、ファールを打ったチームが支払うことで示談しました。本来は大会関係者の車が損壊しても補償しないというのがルールですが、それが周知されていたかということや、ラビッツ球場をあまり利用したことがないチームということもあり、一部を補償することにしました。今回はたまたま大会関係者の車でしたが、そうではない場合は大会参加チームの全体で補償する必要性も出てきます。その辺のルール作りをすべきと思われますし、打者には絶対にファールを打たないという強い気持ちでプレーしてもらおうことが求められます。